

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●スプリンターズSはレッドファルクスが連覇達成

10月1日(日)に行われたスプリンターズS(G I)では、昨年の勝ち馬レッドファルクス(牡6歳／美浦・尾関知人厩舎)が優勝、同レース連覇を達成しました。1990年のG I昇格以降、スプリンターズS連覇はサクラバクシンオー(1993年・1994年)、ロードカナロア(2012年・2013年)に続く3頭のこととなります。

●ビッグアーサーの競走馬登録抹消

2016年高松宮記念(G I)などの勝ち馬ビッグアーサー(牡6歳／栗東・藤岡健一厩舎)は、10月6日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績14戦8勝・海外1戦0勝で、今後は北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となる予定です。

●負担重量47kgでの出走は38年ぶり

9月30日(土)の4回中山8日・第6レースでは、藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)騎乗のカスタディーヴァ(牝3歳／美浦・田村康仁厩舎)が負担重量47kgで出走しました。3歳牝馬の定量52kgに、藤田騎手の減量3kg(免許取得5年末満かつ通算30勝以下)と南半球産馬に対する減量2kgが適用されたもので、47kgでの出走は、1979年アラブSのリオノルテ(国兼正浩騎手)以来38年ぶりのこととなります。

●東西で騎手チャリティイベント開催

9月9日(土)から10月1日(日)にかけての4回中山競馬開催期間中、中山競馬場では「ファンと騎手との集い・チャリティイベント」として、レースゼッケンやショッキープライベートフォトの販売、バックヤードツアーなど各種のチャリティイベントが実施されました。本イベントで集まった総収益金250万7200円は、親を亡くした子どもたちなどを支える「あしなが育英会」へ寄贈されます。また9月24日(日)の4回阪神7日・第12レース終了後にはファンと騎手との交流イベント「第10回ショッキーフェスティバル」が開催され、ゼッケン販売や騎手サイン入りグッズのオークションが実施されました。総収益金93万4000円は東日本大震災の被災地(福島県)へ寄付されます。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●東京盃(大井)はJRAから船橋へ移籍2戦目のキタサンミカヅキ

東京盃(Jpn II、10月4日、大井、1200m)は、中団から追い上げた7番人気の船橋のキタサンミカヅキ(繁田健一騎手=浦和、牡7歳、父キングヘイロー)が、先に抜け出した3番人気のブルドッグボス(浦和)をゴール寸前で差し切りました。1番人気のニシケンモノノフは3着、2番人気のショコラブランは4着、ドリームバレンチノは5着、コーリンベリーは6着、ナックビーナスは9着でした。

●インカンテーションが白山大賞典(金沢)で5度目の重賞制覇

白山大賞典(Jpn III、10月3日、金沢、2100m)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立ったインカンテーション(岩田康誠騎手、牡7歳、父シニスター・ミニスター)がカツゲキキトキ(愛知)に2馬身半差を付け、1番人気に応えました。逃げた2番人気のクリノスマスターが3着、タガノディグオは4着、ナムラアラシは5着、3番人気のコパノチャーリーは8着に敗れています。

●南部杯(盛岡)にコパノリッキー、ベストウォーリアらが参戦

マイルチャンピオンシップ南部杯(Jpn I、10月9日、盛岡、1600m)は、昨年の1、2着馬コパノリッキー、ベストウォーリアの対決を軸に、ゴールドドリーム、カフジテイク、キングズガード、ノボバカラ、ウインフルブルームなどが争闘圈内と考えられます。

●シャインカメリアらが出走、10月12日のエーデルワイス賞(門別)

エーデルワイス賞(Jpn III、2歳牝馬、門別、1200m)は、JRA所属馬では唯一ダートで勝っているシャインカメリア、ウインジェルベーラ、ラインギャラント、ジュンドリーム、北海道勢はストロングハート、ボーダレスガールの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●仏G1凱旋門賞はエネイブルが快勝～日本馬は振るわず

日本馬の悲願達成は来年以降に持ち越します。10月1日にフランスのシャンティイ競馬場で行われたG1凱旋門賞(芝2400m)に出走したサトノダイヤモンドとサトノノブレス(ともに栗東・池江泰寿厩舎)はそれぞれ15着、16着に終わりました。勝ったのはイギリスの3歳牝馬エネイブル。道中3番手追走から直線半ばで先頭に立って、そのまま押し切りました。2馬身半差の2着には今年のG1ガネー賞の勝ち馬クロスオブスターズ、3着には今年のG1エクリプスSとG1英インターナショナルSを制したユリシーズが入りました。重馬場の勝ちタイムは2分28秒69。勝ったエネイブルはG1キングジョージVI世&クイーンエリザベスSを制したナサニエルの初年度産駒。これでG1初制覇となった今年6月の英才ークス(芝1200m6歳)から愛オーケス(芝1200m)、キングジョージVI世&クイーンエリザベスS(芝1100m211斤)、ヨークシャーオークス(芝1100m188斤)、そして今回の凱旋門賞とG1・5連勝となりました。鞍上のL.デットーリ騎手はラムタラ、サキー、マリエンバード、ゴールデンホーンに続く勝利で史上最多の5勝目。管理するJ.ゴスデン調教師はゴールデンホーンに続く2勝目です。